

# みんなのギカシ

すもと市議会だより

2017.4.15 Vol.43



## CONTENTS

|                                |
|--------------------------------|
| 3月定例市議会の概要・予算審査特別委員会(2)～(4)    |
| 討論 ..... (4)                   |
| 常任委員会議案審査 ..... (5)            |
| 代表質問 ..... (6)～(7)             |
| 一般質問 ..... (8)～(13)            |
| 議会運営委員会市政調査報告 ..... (13)       |
| 議員提出議案・特別委員会報告・議員研修 ..... (14) |
| 議決結果 ..... (15)                |
| 視察の受け入れ・政務活動費と議会交際費の公表(16)     |
| 就任あいさつ・新しい議会構成 ..... (17)      |
| 議会日程・編集後記 ..... (18)           |

～清らかな歌声と共に～  
新議場のオープニング



編集発行 洲本市議会 洲本市本町三丁目4番10号 TEL.0799-22-3334 FAX.0799-22-3092

ホームページ <http://www.city.sumoto.lg.jp/>

洲本市議会

検索



# 133万6千円の当初予算を可決

## 一般会計は前年度比28億円の減

平成29年度 一般会計・特別会計予算額 (単位:千円、%)

| 会計名     | 平成29年度     | 平成28年度     | 増減率        |
|---------|------------|------------|------------|
| 一般会計    | 22,100,000 | 24,900,000 | △11.2      |
| 特別会計    | 国民健康保険事業勘定 | 6,970,000  | 6,900,000  |
|         | 直営診療施設     | 504,000    | 600,000    |
|         | 由良財産区      | 950        | 1,130      |
|         | 納、鮎屋財産区    | 70         | 70         |
|         | 堺財産区       | 316        | 315        |
|         | 土地取得造成     | 65,000     | 387,000    |
|         | 下水道        | 1,910,000  | 1,803,000  |
|         | C A T V    | 651,000    | 650,000    |
|         | 介護保険事業勘定   | 4,750,000  | 4,613,000  |
|         | サービス事業     | 330,000    | 330,000    |
| 後期高齢者医療 |            | 690,000    | 680,000    |
| 計       |            | 15,871,336 | 15,964,515 |
| 合計      |            | 37,971,336 | 40,864,515 |
| △       |            | △0.6       | △7.1       |

3月定例市議会は、3月2日に竹内市長から平成29年度の市政運営に臨む施政方針が示され、これに基づく平成29年度一般会計及び特別会計予算が上程されました。

これに対し市議会は、予算審査特別委員会を設置し、3月13日から3日間、委員会を開催しました。担当部署から詳しい説明を聴取し、慎重に審査した結果、可決すべきものと決しました。その後、22日の本会議において、可決されました。

また、平成28年度の一般会計及び特別会計の補正予算をはじめ、報告案件や議案が上程され、各常任委員会を開催して審査を行いました。議案の議決結果は、15ページに掲載しています。

Q ふるさと発信特別展示会実施事業費として1億円計上されているが、展示会は通年なのか。特別展は本市出身のゲー

ムデザイナーである堀井雄二氏の会社に依頼するのか。また、期間はいつ頃なのか。

A (財務部) 展示会は期間限定で、

外部にお願いすることになる。

開催時期は、子どもが多く来場できる夏休みに開催したい。期間は1カ月程度と考えている。

Q 防犯灯のLED化に

ついて、市内の設置数は。何カ年で実施するのか。

A (企画部) 昨年末で4、6

71灯。平成29年度で調査、30年度で実施する予定。

Q 防犯灯の虫よけ対策

は。

予算審査特別委員会

### 総務関係

ないが、LED灯にはあまり集まって来ないと聞いている。

Q ふるさと渋本もつともつと応援寄附金で、返礼品のホテル宿泊券など換金性のあるもの扱いが問われているが。

A (総務部) 総務省からの指導はないので、そのまま続けたい。

Q 非常用のサイレンなどの設置状況は。増設予算が計上されているが。

A (総務部) 市内33カ所にサイレン、69カ所にスピーカーが設置されており、今回サイレンを2カ所増設する。



▲特別展開催予定のアルファビアミュージアム

# 総額379億7

## 平成29年度予算の新規・拡充事業

### ○安全で安心な暮らしの実現

- 庁舎整備（立体駐車場整備）……………2億6,620万円
- 防犯灯LED化……………1,800万円
- 認定こども園整備……………5億円
- 妊娠・出産包括支援……………700万円
- 福祉有償運送……………400万円

### ○活力とにぎわいのあるまちづくり

- ふるさと洲本もっともっと応援大感謝祭……………1億円
- 観光移動支援……………200万円
- 宿泊施設等案内多言語化促進……………200万円
- U・I・Jターン若者雇用奨励金交付……………800万円
- 農業後継者確保……………825万5千円
- 五色地域コミュニティバス運行……………1,000万円
- 加茂小学校エレベーター設置……………4,500万円
- 小学校空調機設置（実施設計）……………870万円

### ○新たな魅力の創造

- 三熊山トイレ整備……………2,200万円
- 北前船寄港地フォーラム in 淡路島……………195万円
- 御食国・和食の祭典 in 淡路島（仮称）……………200万円
- 高田屋嘉兵衛翁記念館・菜の花ホールの統合……………500万円
- 環境学習推進……………790万円
- 未来を奏でる吹奏楽応援……………300万円

### ○行財政改革の取り組み

- 諸証明書コンビニ交付……………4,670万円

平成29年度の当初予算は、一般会計で221億円、前年度比28億円の減となっています。その要因は、庁舎整備、中川原スマートIC整備、由良小プール改築などの投資的経費が大幅に減額したためです。また、特別会計は158億7,133万6千円でほぼ横ばいの総額379億7,133万6千円です。

当初予算に盛り込まれた平成29年度の主な新規・拡充事業は左表のとおりです。特徴は、定住と交流の促進、地域産業の活性化などに重点を置いた事業となっています。

予算審査特別委員会や各常任委員会での主要な質疑の内容は、2~4ページに記載しています。

Q 国がコンビニ交付事業を推進しているのか。また、全国のコンビニで証明書が取れるのか。

A 「市民生活部」マイナンバーカードの利用推進のため、国が推進している。本市と契約しているコンビニなら、全国どこでも証明書が取れる。

## 教育民生関係

A 「健康部」2分の1助成で2台分予定している。

Q 新規に吹奏楽事業をあげた理由は。

A 「委員会」中学校吹奏楽部の楽器が不足している。市民からの提供を求めたい。



Q 昨年の熊本地震の被災を踏んで、洲本城跡の石垣修復に備え、写真に保存する必要があるのではないか。

A 「教育委員会」面はあるが、写真保存は検討していきたい。

Q 胃がん・大腸がん検診で50代は有料だが、無料にできないか。

A 「健康部」早期発見・予防の趣旨で、まずは40代を無料対象にしている。

Q 福祉有償運送事業（新規購入分）は何台分を予定している。

スター事業などを活用して、  
増頭を図りたい。



▲ゆ～ゆ～ファイブに設置された竹チップボイラ

費2,170万円  
Q 地籍調査事業

Q 五色沖の洋上風力発電整備  
調査業務委託料が3,840万円計上されているが、本市の負担は。

A 「農林」すべて環境省からの国費である。  
Q 本市の繁殖和牛の肥育頭数

A 「農林」年に約100頭ペー  
スで減少している。畜産クラ

Q 竹資源供給体制モデル事業

補助金200万円が計上され  
ているが、内容は。

A 「農林」ウェルネスパーク五  
色に設置された竹チップボイ  
ラーの原料として、市内の放

置竹林から竹チップを供給で  
きないか、県や集落と補助事  
業実施に向け調整している。

Q 有害鳥獣防止対策事業費が  
5,550万円計上されている  
が、現状は。

A 「農林」平成27年度の捕獲頭数  
が1,000頭を超えているが、現  
状は、イノシシが1,200頭、鹿  
の生息数は減少していないとの  
データもある。野性生物に農作物  
の味を覚えさせないなどの対  
策も必要だと考  
える。

が計上されているが、調査地区  
と進捗状況は。

A 「水産部」上物部地区と広石下  
地区を予定している。現在の  
進捗は8%弱である。

Q 由良排水機場の管理につい  
て、新しいシステムを導入す  
ることだが。

A 「都市」水位をインターネット  
で確認でき、危険水位を超  
えた場合には担当者に通報が  
届くシステムを導入する予定。  
Q 解体予定の市営住宅船場団  
地の入居状況と退去期限は。

A 「都市」土地の所有者がいる  
場合は、当然所有者に適切に  
管理していただく。所有者が  
いない土地に関しては、有効  
活用も検討していくかなければ  
いけない。

A 「都市」現在17戸の世帯に入  
居いただけおり、退去につ  
いては入居者と相談して決定  
する。

Q 老朽空き家対策について、  
補助制度や行政代執行で解体  
した後の空き地の管理はどう  
なるのか。

Q 老朽空き家対策について、  
補助制度や行政代執行で解体  
した後の空き地の管理はどう  
なるのか。

【議案第1・2・9・10号】  
反対 間森和生(日本共産)

## 討論

### 予算審査特別委員会要望事項

- 本市に活力とぎわいをもたらすため、新たに「ようこそ洲本プロジェクト」に取り組み、交流に力を注ごうとしているが、年間を通して切れ目なく、交流人口が確保されるよう、施策の展開を図られたい。
- 市役所新庁舎の建設に続き、市役所の一画で洲本商工会議所会館の建てかえが予定されているが、市営住宅船場団地の用途廃止に当たっては、入居者の円滑かつ迅速な転居に配慮されたい。
- 少子化の進行や女性の社会進出に対応して、子育て環境のさらなる充実のため、認定こども園の整備や保護者の経済的負担の軽減等、ハード、ソフト両面にわたり、一層努力されたい。

国保税、介護保険料、後期高齢者医療費、どれをとっても国民に負担増を押し付けるもので問題である。説明書交付を実施する必要はない。  
マイナンバーカードの交付率が9%に満たない状況で、急いでコンビニでの証明書交付を実施する必要はない。  
この制度改悪が、住民の福祉増進を図ることにつながらないので反対である。

# 議案審査

## 総務常任委員会



▲解体中の旧本庁舎

Q ニューケーション条例の

## 教育民生常任委員会

Q 由良小学校のプール改修は、水泳の授業までには間に合うのか。

A 「教育委員会」現在の工事進捗率は

Q 本庁舎等解体撤去工事及び立体駐車場建設工事の施工に当たり、歩行者や車両の安全対策を図るとともに、施工計画に沿い、工期内に完成するよう、要望しました。



▲菜の花ホール（高田屋嘉兵衛公園）

Q 由良小学校のプール改修は、水泳の授業までには間に合うのか。

A 「教育委員会」現在の工事進捗率は

Q 洲本市里と海の魅力発信拠点施設（ついどはん）が整備されたが、洲本市での就農希望者のほかに移住希望者も宿泊できるようにすべきでは。

A 「農林水産部」就農希望者だけではなく、域学連携事業に参加する学生の宿泊も想定している。



▲ついどはん（五色町鮎原下）

げはするのか。また、収容台数は。

Q 市民会館解体時には、アスベストの処理などに追加で費用が必要となつた。旧本庁舎解体について、そのような恐れはないか。

A 「総務部」渡り廊下部分の塗料の一部で使用されているが、適切に指導している。

Q 立体駐車場の入札結果は。

A 「総務部」市内3社が入札し、落札率は99・89%。工期は6月20日から11月20日である。

Q 本庁舎同様、地盤のかさ上

Q 市民会館解体時には、アスベストの処理などに追加で費用が必要となつた。旧本庁舎解体について、そのような恐れはないか。

A 「総務部」渡り廊下部分の塗料の一部で使用されているが、適切に指導している。

Q 本市の魅力創生とは。

A 「総務部」魅力創生課を創設し、企業誘致・定住促進・ふるさと納税・ふるさと商品などをひとつの部門で効率的に行い、魅力の発信を行うものである。

Q 農林水産部に商工観光課の事務が追加されることになるが、発信力の強化などが目的か。

A 「総務部」その点に加えて、農林水産業などと連携を取りながら振興の充実を図るものである。

Q 新しくできる産業振興部は、農林水産部に商工観光課の事務が追加されることになるが、発信力の強化などが目的か。

A 「総務部」かさ上げはしない。166台を予定している。

Q 166台を予定している。

Q 制定の意図は。字などの伝達手段による、情報の取得を促進することにより、全ての市民がコミュニケー

約4割程度で、5月末の完成予定である。

Q ついどはんで行う事業となっていているが、具体的には。

A 「農林水産部」キッキンなども備え付けていることから、地域の祭りに関連する利用なども想定している。

Q 議案第14号 洲本市障害者のコミュニケーション手段等の選択の機会の確保及び拡大に関する条例制定については、

Q 空き家等対策協議会を設置するとしているが、委員の任命については専門家が好ましいのではないか。

Q ついどはんは、全国で2番目という先駆的な取り組みであり、条例の施行に当たっては、関係者はもとより広く市民にも周知されたい。

Q 空き家等対策協議会を設置するとしているが、委員の任命については専門家が好ましいのではないか。

Q ついどはんは、全国で2番目という先駆的な取り組みであり、条例の施行に当たっては、関係者はもとより広く市民にも周知されたい。

Q 空き家等対策協議会を設置するとしているが、委員の任命については専門家が好ましいのではないか。

## 要望事項

Q 本庁舎等解体撤去工事及び

立体駐車場建設工事の施工に当たり、歩行者や車両の安全対策を図るとともに、施工計画に沿い、工期内に完成するよう、要望しました。

## 産業建設常任委員会

Q 洲本市里と海の魅力発信拠点施設（ついどはん）が整備されたが、洲本市での就農希望者のほかに移住希望者も宿泊できるようにすべきでは。

A 「農林水産部」就農希望者だけではなく、域学連携事業に参加する学生の宿泊も想定している。

Q 由良小学校のプール改修は、水泳の授業までには間に合うのか。

Q ついどはん（五色町鮎原下）

## 代表質問

宙(おおぞら) 小松 茂



## 障害者コミュニケーション条例の趣旨のPRに努めるよう要望

## 総合戦略枠予算

Q 認定こども園のテーマと、開園時期はいつ頃を想定しているか。

A プロポーザルでの設計業者選定に必要な条件として、一つには優しさを、二つには楽しさをお示しした。開園時期は平成31年4月を予定している。

Q 「ふるやと洲本もつともっと応援大感謝祭」の内容などは。

A この夏、ふるやと納税を通して洲本市を応援していただいた全国の方々に、比亚ミニュージアムをはじめ、市内全域で開催する。本市出身の世界的ゲームデザイナー・堀井雄二氏とのつながりを生かし

た特別展をはじめ、多種多彩なイベントを開催し、にぎわいづくりにつなげていきたい。

### 障害者コミュニケーション条例

(※)

この条例案は、障害者の権利に関する条約、改

正障害者基本法などを踏まえ、手話が言語であることを明記し、コミュニケーションに障

がいがある全ての人たちに、コミュニケーション手段の機会の確保と拡大について定めるもの。この条例に込めた市

の思いは。

A 障がいの有無にかかわらず、全ての人が心を通わせ理解しあい、全ての市民がつながる優しいまちであつてほしいとの思いを、この条例に込めた。

※洲本市障害者のコミュニケーション手段等の選択の機会の確保及び拡大に関する条例制定について

## 代表質問

「志」(こころ) 小野 章二



## 多岐にわたる事務事業のスピード化に調整部門を

Q 美しさ・優しさを基本にしたまちづくりのイメージは、思いは。

A 大浜海岸・先山・西浦海岸、菜の花・水仙・ひまわりなどが咲き誇る景観、

まちづくりを進めていく。

Q 人事評価制度の導入は

「人」づくりのツールとなる。制度を通じて人材育成の目指すところは。

A 職員の能力・業績の両面から適正に評価することと、職員のやる気と動きがない引き出し組織の活性化を図ることである。

Q 公会計システム導入による今後は。

A 官庁会計では見えにくかった行政コストや、資産・負債などの情報を把握することができ、中長期的な財政運営への活用が期待できる。

Q 新たな洲本市総合基本計画策定にあたり、市長の思いは。

A 巨大地震発生が予測される中、人口減や高齢化などをマイナス材料と捉えず、市民と行政が共有するプラス思考のまちづくりの羅針盤に仕上げていく。

Q 小中学校入学時のギャップに対応するには先生方

の連携力向上が必須だが、取り組まれている研修と、その研修に対する教員長の思いは。

A 先生方に指導者として研修に対する教員長の思いは。旧中川原中学校跡地の校舎を利用し、洲市教育センターを立ち上げた。多くの先生方が積極的に研修を受講しており成果が出ている。



**Q** 子育て世代にとって重要な施策の保育料無料化実施は。また、こども医療費無料化の拡大は。

**A** 保護者の経済的負担を軽減するため、多子世帯の保育料軽減を行っている。また18歳までの入院医療費助成のほか、子育て応援パスポート発行など、多岐にわたる支援を実施している。

**Q** 公共交通空白地域の解消に向けた取り組みは。

**A** 4月からは五色地区と市街地を結ぶ路線の運行を開始する。地域や交通事業者との協議を重ねていく。

**Q** 農業を志す青年を受け入れるシステム作りは。地元業者は、職人さんの仕事確保に有効な住宅・店舗リフォーム助成制度の実

**Q** 認定農業者のもとで技術を学ぶ制度、離農者の農地や住宅を就農者につなぐ仕組みを行う。また、住宅改修では、耐震化や風情ある住まいづくりなどを、また商店街店舗のイメージアップの支援なども実施している。

**Q** 新庁舎の完成だけでは、ながらない。市内各地域の活性化を市民は期待しているが。

**A** 本市のまちづくりの情報発信拠点、防災拠点として、にぎわいづくりにつなげたい。

**Q** 市民サービスの向上につながりたい。

**A** 本年度は、市内各地区の活性化を目標に、地域活性化計画を策定し、地域連携によるまちづくりを推進する。また、地域活性化のための、総合的かつ効果的な対策を示したものである。第2次総合基本計画の策定により、市民と行政が共有するプラス思考のまちづくりの方向性を示したい。

**Q** 特例措置の縮減と人口減少に起因した減額など厳しい現状にあり、今まで整備してきた資産と資源をフルに活用し、ソフト面の充実、豊かさを実感できるよう、有効的活用に努めたい。

**Q** 第2次総合基本計画策定の目的と総合戦略との整合性は。

**A** 総合基本計画は、進むべきまちづくりの先を示した羅針盤である。総合戦略は、その羅針盤のもと、喫緊の課題である人口減少と、それがもたらす経済活動や市民生活への影響を回避するための、総合的かつ効果的な対策を示したものである。第2次総合基本計画の策定により、市民と行政が共有するプラス思考のまちづくりの方向性を示したい。

**Q** 観光戦略の方向性は。

**A** 多くの人に足を運んでもらえるきっかけづくりと、まち歩きを通して、洲本のまちを楽しんでいただける仕掛けづくり、優しさあふれるおもてなしの心、の3点が、本市の観光についての基本的な考え方である。

**Q** その他、防災・道路整備・教育の充実などについて考えを伺い、定住・観光振興における三市の連携強化を要望。

## 保育料の無料化で 思い切った子育て支援を

# 大バリ!! ここが聞きたい

**中野睦子** ..... P.8

- 介護支援について
- ふるさと洲本もつともつと応援寄附金について

**先田正一** ..... P.9

- 教育現場・施設等の課題について
- 市街地周辺整備と活性化について
- 福祉施策（子育て・高齢者支援など）について

**近藤昭文** ..... P.9

- 子育て：教育について
- 観光行政について
- 地域文化の振興について

**片岡格** ..... P.10

- 施政方針における安全で安心な暮らしの実現について
- 活力とにぎわいのあるまちづくりについて

**平郡平** ..... P.10

- 地域の消防団について
- 有害鳥獣駆除の処理環境改善について

**木戸隆一郎** ..... P.11

- 子育て支援の充実について
- 自治体による新電力会社設立について

**笹田守** ..... P.11

- 地域おこし協力隊について
- 域学連携事業について
- 企業誘致について

**柳川真一** ..... P.12

- 農業施策について
- 道路整備及び通学路の安全対策について
- 本市のまちづくりについて

**木下義寿** ..... P.12

- 上塙定住促進住宅について
- 高齢者の定義について
- 運転免許証自主返納について

**福本巧** ..... P.13

- 防災環境の充実について
- 定住と交流の促進について
- 生活環境の充実について

※ここに表示した質問項目は、定例会で実際に行った質問を全て記載しております。ただし、各記事に全ての質問・答弁が掲載されているとは限りません。

**Q**

介護保険の具体的な使い方は。

**A** 本市の介護保険の現状は。平成28年3月末での第1号被保険者は、1万5,034人。要介護認定者は2,245人、要支援者は730人で、75歳以上がその割を占めている。

給付費は年々増加傾向にあり、27年度決算額で42億1,000万円である。（健康福祉部長）

**Q**

本市の介護保険の現状は。平成28年3月末での第1号被保険者は、1万5,034人。要介護認定者は2,245人、要支援者は730人で、75歳以上がその割を占めている。

その後ケアマネージャーを選び、本人の希望や心身の状態、介護度に合ったケアプランを作成、サービスを受ける。（健康福祉部長）

**介護支援**

**A** 介護福祉課に申請し、要介護認定を受ける。認定は、心身の状態や環境などの訪問調査結果と、主治医の意見書内容を認定審査会に諮り、要支援

**Q** ふるさと洲本もつともつと応援寄附金もつと分かりやすく！



ほか、在宅介護の支援、第7期介護保険事業計画について質問。また、ふるさと納税をやすだけでなく、庁舎空きスペースの有効活用や雇用創出にも成功している、佐賀県みやき町の事例を紹介しました。

**A** 込めてお礼状をはじめ、アンケートなどを送っている姿勢が多く、寄附につながっている。これからも感謝の気持ちを込めて努めたい。（市長）



中野睦子（なかのむつき）  
（志）



▲来年度よりエアコン整備される小学校



## 小学校エアコン整備や図書館通年開館を要望

**先田正一（公明党）**

### 教育現場・施設の課題

**Q** 小学校のエアコン整備は。

**A** 平成29年度中に全小学校の実施設計を、30年度以降、補助事業の採択を受け、複数年かけ、規模の大きな学校から順次整備していく。（教育次長）

**Q** 図書館の休館日変更は。

### 市街地周辺整備と活性化

**Q** 洲本公設市場・洲本商工会議所会館の今後は。

**A** 繼続的使用が限界にある洲本公設市場。市営住宅船場団地の取り組みと連携して、順次撤去を促す。（企画情報部長）

**A** 市営住宅船場団地は用途廃止の方針。現入居者との間で移転に向けた取り組み

**A** 色図書館のどちらか一方の休館日をずらし、一週間を通してどちらかの図書館が利用できるよう、さらなる市民サービス向上に努める。（教育次長）

### 福祉施策

**Q** 子育て・高齢者支援は。

**A** 多子世帯など総合的に支援を講じている。また、地域包括支援センターの充実に努めている。（健康福祉部長）

その他、学校トイレ洋式化、障がい児通級指導、無電柱化、伊ベント支援などを質問しました。

**A** とそろな連携強化を図るため、市庁舎の一画への会館建て替えに向け、具体的な協議を進める。（企画情報部長）

### 子育て・教育

**Q** 旧県病跡地に建設を予定している認定こども園の建設工事発注や、園児の募集時期は。

**A** 平成29年10月31日で、発注はそれ以降。

31年4月開園予定から逆算して、募集は30年秋頃になると考える。（健康福祉部参事）



▲認定こども園の整備が予定されている旧県病跡地



## 就学援助金の前倒しの検討を

**近藤昭文（日本共産党）**

### 支給について、情報を収集し、研究・検討を進めてまいりたい。

**Q** 旧県病跡地に建設を予定している認定こども園の建設工事発注や、園児の募集時期は。

支給について、情報を収集し、研究・検討を進めてまいりたい。（教育長）

### 観光行政

**Q** 「ふるさと洲本もつともつと応援大感謝祭」で、アルファビアミュージアムも活用するとあるが、期間限定ではない、堀井雄

恒久的な活用策は見出せてないが、期間限定の活用策も含めて検討を進める。（企画情報部長）

**A** 恒久的な活用策は見出せてないが、期間限定の活用策も含めて検討を進める。（企画情報部長）

**Q** 深日港や閨空から航路開設の動きがあるが、洲本港からの市街地や島内へのアクセスの検討は。

その他、芸術文化団体の育成・支援など、地域文化の振興について質問しました。

**A** 移動手段は必要であり、交通事業者の事業展開に期待している。（企画情報部長）



## 最悪の状況を想定した 防災対策を

片岡 格 (日本共産党)

地震の揺れを感じて電源が切れ、感震ブレーカーの設置事業を取り入れるが、機種や工事費など一定の基準を示すこと有必要では。

**Q** 知して電源が切れる、感震ブレーカーの設置事業を取り入れるが、機種や工事費など一定の基準を示すこと有必要では。

が必要である。避難路の整備と併せ、ソーラー発電の照明器具などの設置が必要では。

**A** 対象地域に対し、停電時などの厳しい条件を踏まえ、地域の特性に即した整備事業の活用を周知していく。

**A** 普及にあたり電気工事組合や、メーカーなどにも啓発する中で、一定の価格基準の話も出てくるものと思われる。(都市整備部長)

**Q** 住宅の耐震補強の進捗状況と対策は。

**A** 耐震化率は現在77%。新年度から耐震診断費用の個人負担をなくす制度を設け、もう少し進めていきたい。(都市整備部長)



**Q** 国道28号バイパス、オニオンロー谷千草線などの一日も早い完成を求めるが、それとの進捗率と今

**A** 県道洲本灘賀集線の越波対策の進捗は、引き続いて整備に取り組んでいた

**Q** 地域の安全安心のためにも、町内会に現状の理解と、団員募集のさらなる呼びかけをしていただることはできないか。

**A** また、町内会そのものが役員確保にも苦慮されているということを伺っている。そうした中で、それ以上の依頼は事務局としてはなかなか難しいと考える。

**A** 鳥獣保護管理法第18条の規定に基づき、放置が禁じられた中で、適正な処理が求められている。また、既に分経費も負担している。よって新たな支援については考えていない。



▲地域を守る（操法大会の様子）

## 消防団員募集と 有害鳥獣駆除の処理環境改善を

平郡 平（宙）

### 地域一丸で 募集活動を

**Q** 団員確保に理解と協力がなく、現地員が困窮している。地元消防団の問題は、地域の町内会自身の問題もあるはず。

業を、生活を守りたいだけとの叫びの声。この現実を真に直視し応えるためにも、檻(おり)で捕獲した獲物の処分は、行政が全面支援すれば、協力をいただけていい。

**A** 日(じ)ろ町内会の方々には、市の広報や社会福祉協議会などからの発刊物の配布や、本市が実施するさまざまな事業に多大な協力をいただけていい。

**Q** 捕獲したくて捕獲しているのではなく、投棄していくのでもない。適切なジビエ活用の道も開かれていらない。ただ野生害獣被害から農

**A** 財政面での新たな支援策についてまずは既存の制度には、行う状況にはないと考える。

有効に活用いただき、適切な処分を行つていただきたい。

(理事)





## 「一ーづくりに合わせ、さらなる子育て環境の充実を

木戸 隆一郎 (「志」)

### 子育て支援の充実

Q

県病跡地に建設が予定されている認定こども園で、病児保育事業は行われるか。

A

プロポーザルの中で提案があると考えている。  
(健康福祉部参事)

Q

平成31年4月の開園予定とのことだが、この整備によって幼稚園の再編などはあるか。

A

学校教育審議委員会で、将来的には1園との報告があつた。教育上、望ましい集団活動ができる、よりよい教育環境を整えるために再編を進めていきたい。(教育長)

Q

幼稚園における3歳児の受け入れを拡大しては。

A

現段階では拡充を考えていなし。(教育長)

Q

一一づくり調査では、電力をと発電量は、計画を合わせほぼ同程度。

A

保育園、幼稚園の次に、幼稚園で17時までの預かり保育の希望があつたが、実施は。

現在1時間以内の保育活動を行つており、現行を継続していく。(教育長)

A

安定性や事業先の確保などが課題。今後、調査研究を進めたい。

Q

実施することを目指す、義務教育学校導入の考えは。

A

教員免許の併有や移動、特例手続きが課題。

研究を進めていく。(教育長)



▲環境共生のランドマーク



## 域学連携事業とあわじ環境未来島構想の実現へ

笹田 守 (「志」)

### 域学連携事業の意義について。

Q

大学生と大学教員が地域の現場に入り、地域の課題解決、地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化及び地域の人材育成に資する活動を行い、地域のにぎわいの創出や地域産業の振興、あわじ環境未来島構想の実現を目指す。(農林水産部次長)

A

可能エネルギー事業推進に関する協定において、行政や地元の金融機関、事業者や大

学が積極的に関与し、相互に協力、連携することを確認した。今後、

A

設置され、再生可能エネルギー分野において、龍谷大学と連携しながら事業展開を始めてい

Q

地域貢献型再生可能エネルギー事業推進に関する協定において、行政や地元の金融機関、事業者や大

A

学が積極的に関与し、相互に協力、連携することを確認した。今後、

Q

携する、ため池フロー式発電設置について。

A

設置され、再生可能エネルギー分野において、龍谷大学と連携しながら事業展開を始めてい

Q

地域貢献型再生可能エネルギー事業推進に関する協定において、行政や地元の金融機関、事業者や大

A

学が積極的に関与し、相互に協力、連携することを確認した。今後、

Q

施工性やため池の耐久性、地元の合意条件などを満たし、事業主体の意向が確認されたものから、順次調整を

A

進めたい。(農林水産部次長)

Q

施工性やため池の耐久性、地元の合意条件などを満たし、事業主体の意向が確認されたものから、順次調整を

A

進めたい。(農林水産部次長)

Q

進めたい。(農林水産部次長)

A

再生可能エネルギーを活用した新産業の創出、農林水産物に新たな付加価値を生み出す取り組みの推進、地域資源を生かした新たな観光の取り組みなど、域学連携事業の推進を位置づけてい

Q

事業の今後の展開は。



▲大学生と地元住民との連携

## 本市に大型クルーズ船の拠点を



柳川 真一（やながわ まさかず）  
（宙）

### 農業施策

**Q** 現在、農業振興地域整備計画の見直し作業を行っているが、進捗状況は。

**A** 平成29年度当初より、総合見直しに係る作業に着手し、近く計画の変更案を公

告総覽する予定で、その後、異議申し立ての期間を設け変更後の公

示をする。

**Q** 人気の高さは、家賃の安さよりも子育て環境の良さだと思うが。

**Q** 「Jのぼり」、日本老年学会から65歳

**Q** 本市において自主返納の状況は。

（農林水産部次長）

**A** 各自治体によって、土地利用や開発行為、農業振興施策の状況が異なるために、



▲上堺地区で放牧している牛

**A** 本市の農振農用地の除外は、他市と比べてハードルが高いのではないか。

**Q** 本市の農振農用地の除外は、他市と比べてハードルが高いのではないか。

**A** よって、土地利用や開発行為、農業振興施策の状況が異なるために、



▲いきいき百歳体操

## 健康寿命延伸のための施策の充実を



木下 義寿（きのした よしとし）  
（宙）

### 上堺定住促進住宅

**Q** 人気の高さは、家賃の安さよりも子育て環境の良さだとと思うが。

**Q** 「Jのぼり」、日本老年学会から65歳

**Q** 本市において自主返納の状況は。

（農林水産部次長）

**A** 本住宅は、市外からの子育て世帯定住の足がかりとして呼び込み、本市での定住の足がかりとして

**A** いたまく住宅であり、地域の熱意と協力で完成した。入居された方々が地域の方々との交流で、子ども達が成長した時に「私のふるさとは堺」と言っていただけ



**Q** 全運転教室は。洲本市シルバーハイウェイ推進員制度で、25名が活動中。交通安全教室は平成27年度で28回開催。（市民生活部長）



## 受援力を高める環境整備を要望

福本巧（ゆきほん たくみ）  
（ふくほん たくみ）

### 防災環境の充実

Q 発災時の被災者の救援や、その後の復旧復興において大きな役割を果たす災害ボランティアの受け入れ体制について。

A 市が毎年実施している地域防災訓練に、災害ボランティアセンターの設置・運営を担う洲本市社会福祉協議会の参加のもと、災害ボランティア受け入れ業務訓練を行っている。その際、市や地域住民との災害体制、それぞれの役割などを確認するなどの連携強化に努めている。（総務部長）



▲被災地区的指示を受ける災害ボランティア

### 定住・交流の促進

Q 地方創生推進交付金を活用した4市連携による地域再生計画と、本市のシティプロモーション戦略との連携について。

A 地域再生計画に魅力とともに、豊富な食材、都市圏とのアクセス、大型商業施設や

Q 少子高齢化の進展により、増加が心配される所在者不明确の空き家対策について。

A 所有者へ空き家の適正管理を促すことが重要と考えるが、今後、所在者不明の危険空き家の増加が懸念されることから、市民の安全確保と周辺生活環境の保全の観点から、代執行による空き家除去についても必要と考える。

### 市政調査報告

●視察先 東京都東村山市

東京都品川区

1月16日、議会改革についての調査のため、東村山市議会を訪問しました。議会基本条例の施行から2年、市議会はどう変わったのか、検証結果の報告を受けました。定例会ごとの議会報告会・意見交換会は、2年目からグループ形式に、3年目からは車座形式で実施。市民が発言しやすい工夫がされており、市議会ホームページで公表されています。質疑においては、論点を明確にするため、昨年から代表質問も一問一答になっています。市議会だよりはフルカラーレポートによる情報発信、議会報告会の開催、パソコン・タブレットの活用

## 議会運営委員会



▲東京都品川区議会と意見交換

などがまとめられています。区議会が開かれた議会へ、さらなる努力の必要性を感じました。各自治体の経験に学び、市民に開かれた議会へ、さらなる努力の必要性を感じました。子ども向けにやさしく説明されています。のホームページには、女性議員の意見から、「こどものページ」があり、子どもがまとめていました。区議会のホームページには、女性議員の意見から、「こどものページ」があり、子どもがまとめていました。子ども向けにやさしく説明されています。

# 議員提出議案

## 条例の改正

政務活動費の收支報告書の閲覧の簡素化など、条例を改正

議員提出議案として「洲本市議会政務活動費の交付に関する条例」の一部を改正しました。他に「洲本市議会委員会条例」の一部を改正しました。これは「洲本市組織条例」の一部が改正され、部の名称が農林水産部から産業振興部に変更となつたことによるものです。

従来、政務活動費の收支報告書などを見るには、洲本市情報公開条例に基づく手続きを経なければならなかつたのですが、議会事務局において簡単な手続きをすることで閲覧できるように改正するものです。

なお、簡単な手続きで閲覧できるのは、平成29年度分からです。平成28年度以前分は従来の手続きが必要です。

また、同時に「洲本市議会の議決すべき事件を定める条例」の一部を改正しました。これは地方自治法が改正され、市の基本構想の法的な策定義

務がなくなり、策定及び議会の議決を経るかどうかは市の独自の判断に委ねられることとなつたためです。本市では平成29年度に新しい「洲本市総合基本計画」を策定するにあたり、議会で議決することといたしました。

他に「洲本市議会委員会条例」の一部を改正しました。

これは「洲本市組織条例」の一部が改正され、部の名称が農林水産部から産業振興部に変更となつたことによるものです。

## 議員研修

◆2月20日

浜田知昭県議会議員を講師に招き、兵庫県議会の議会改革について話を伺いました。

## 開かれた身近な議会

一、常任委員会が地方での調査を年4回行い、今後は

そこで意見交換を実施する。

# よりわかりやすい議会報に

## 議会報編集特別委員会 中間報告

を感じていただくようになりますなど、その充実を図りました。

編集作業（11回）を行い、市議会だよりを編集、発行してきました。

編集にあたつては、一、市民に開かれた議会の実現を目指して、市民と市議会を結ぶパイプとして重要な役割を持つ議会報を、より詳しく、よりわかりやすく、より親しみ

を感じ、編集すること。  
一、議員みずからが原稿を作成し、編集すること。  
一、議員みずからが原稿を作成し、編集すること。

をコンセプトとしています。  
今期は市内3高校に通学す

を感じていただくようになりますなど、その充実を図ること。

これらを踏まえ、タイトルの変更、写真の配置や余白を確保するなどレイアウトの工夫、専門用語の言い方を進めるなどの改善に取り組み、各高校にも議会報の配布を始めました。

引き続き、よりわかりやすい議会報の編集、発行に努力していきます。

議会との違いは、県では1年に、地方で閉会中の常任委員会を開催する。

一、年2回程度、各種団体や大学生などとすべての会派との意見交換をし、幅広く意見を聞き問題点の共有をする。

一、議会事務局職員の時間外勤務の削減のために、質問通告日を変更します。

また、議会での一般質問の在り方について、市議会と県

る新3年生を対象にしたアンケートの実施や、徳島県小松島市への行政視察、島内3市合同広報広聴交流会を行いました。

これらを踏まえ、タイトルの変更、写真の配置や余白を確保するなどレイアウトの工夫、専門用語の言い方を進めるなどの改善に取り組み、各高校にも議会報の配布を始めました。

引き続き、よりわかりやすい議会報の編集、発行に努力していきます。



## 議決結果一覧

### 賛成多数で可決された議案

※議長（山本和彦）は表決には加わらない。  
しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。  
○は賛成、×は反対、△は棄権、□は欠席。

| 提出者 | 議案名    | 議員名      | 議決結果 | 近藤昭文 | 地村耕一良 | 小野章二郎 | 木戸隆一郎 | 柳川真一 | 片岡格 | 間森和生 | 中野睦子 | 廣田恵三 | 福本巧 | 笹田守 | 先田正一 | 岡崎稔 | 平郡平 | 木下義寿 | 小松茂 | 上田昌孝 |
|-----|--------|----------|------|------|-------|-------|-------|------|-----|------|------|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|------|
|     |        |          |      | 近藤昭文 | 地村耕一良 | 小野章二郎 | 木戸隆一郎 | 柳川真一 | 片岡格 | 間森和生 | 中野睦子 | 廣田恵三 | 福本巧 | 笹田守 | 先田正一 | 岡崎稔 | 平郡平 | 木下義寿 | 小松茂 | 上田昌孝 |
| 市長  | 議案第1号  | 平成29年度予算 | 原案可決 | ×    | ○     | ○     | ○     | ○    | ×   | ×    | ○    | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○    |
| 市長  | 議案第2号  |          | 原案可決 | ×    | ○     | ○     | ○     | ○    | ×   | ×    | ○    | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○    |
| 市長  | 議案第9号  |          | 原案可決 | ×    | ○     | ○     | ○     | ○    | ×   | ×    | ○    | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○    |
| 市長  | 議案第10号 |          | 原案可決 | ×    | ○     | ○     | ○     | ○    | ×   | ×    | ○    | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○    | ○   | ○    |

### 全会一致で可決・同意された議案

| 提出者 | 議案名    | 提出者 | 議案名                      |
|-----|--------|-----|--------------------------|
| 市長  | 議案第3号  | 市長  | 議案第26号                   |
| 市長  | 議案第4号  | 市長  | 洲本市介護保険条例の一部改正           |
| 市長  | 議案第5号  | 市長  | 議案第27号                   |
| 市長  | 議案第6号  | 市長  | 洲本市の区域内における町（字）の区域の変更    |
| 市長  | 議案第7号  | 市長  | 議案第28号                   |
| 市長  | 議案第8号  | 市長  | 市道路線の変更（八幡原線）            |
|     |        | 市長  | 議案第29号                   |
| 市長  | 議案第11号 | 市長  | 市道路線の認定（新八幡原線）           |
|     |        | 市長  | 議案第30号                   |
| 市長  | 議案第12号 | 市長  | 市道路線の認定（長手八幡原線）          |
| 市長  | 議案第13号 | 市長  | 議案第31号                   |
| 市長  | 議案第14号 | 市長  | 洲本市教育委員会委員の任命            |
| 市長  | 議案第15号 | 市長  | 議案第32号                   |
| 市長  | 議案第16号 | 市長  | 堺財産区管理委員の選任              |
| 市長  | 議案第17号 | 市長  | 議案第33号                   |
| 市長  | 議案第18号 | 市長  | 人権擁護委員候補者の推薦             |
| 市長  | 議案第19号 | 市長  | 議案第34号                   |
| 市長  | 議案第20号 | 市長  | 洲本市一般会計補正予算（第4号）         |
| 市長  | 議案第21号 | 市長  | 洲本市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）   |
| 市長  | 議案第22号 | 市長  | 洲本市土地取得造成特別会計補正予算（第3号）   |
| 市長  | 議案第23号 | 市長  | 洲本市下水道事業特別会計補正予算（第2号）    |
| 市長  | 議案第24号 | 市長  | 洲本市介護保険特別会計補正予算（第4号）     |
| 市長  | 議案第25号 | 市長  | 洲本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）  |
|     |        | 市長  | 議案第40号                   |
|     |        | 市長  | 洲本市新庁舎建設（立体駐車場）工事請負契約締結  |
|     |        | 市長  | 洲本市組織条例の一部改正             |
|     |        | 議員  | 議員提出議案第1号                |
|     |        | 議員  | 洲本市議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正 |
|     |        | 議員  | 議員提出議案第2号                |
|     |        | 議員  | 洲本市議会政務活動の交付に関する条例の一部改正  |
|     |        | 議員  | 洲本市議会委員会条例の一部改正          |

※表記は、正式な議案名ではありません。  
議会内的人事に関する案件は除いています。

## 全国から行政視察に来訪

本市では、全国各地の地方自治体の議会から、行政視察を積極的に受け入れています。他の自治体と情報交換ができます。

本市の取り組みに対し意見をいただけるなど、行政視察は議会活動の向上に役立っています。

行政視察の受け入れ状況（平成28年10月～29年3月）

| 月日       | 議会名         | 人数(人) | 調査内容              |
|----------|-------------|-------|-------------------|
| 28.10.18 | 新潟県小千谷市     | 9     | 子育て応援パスポート事業について  |
| 11. 9    | 沖縄県宮古島市     | 9     | 議会運営について          |
| 11. 9    | 鳥取県米子市      | 1     | エネルギーパーク洲本について    |
| 11.10    | 東京都清瀬市      | 4     | お帰りなさいプロジェクトについて  |
| 12.20    | 長野県松本市      | 6     | エネルギーパーク洲本について    |
| 29. 1.16 | 静岡県裾野市      | 10    | お帰りなさいプロジェクトについて  |
| 1.17     |             |       | エネルギーパーク洲本について    |
| 1.19     | 山梨県南アルプス市   | 3     | お帰りなさいプロジェクトについて  |
| 1.26     | 和歌山県田辺市     | 10    | 市庁舎の建設について        |
| 1.26     | 千葉県木更津市     | 8     | 議会改革について          |
| 1.27     | 滋賀県米原市      | 8     | お帰りなさいプロジェクトについて  |
| 2. 6     | 鹿児島県いちき串木野市 | 2     | 洲本市議会議員政治倫理条例について |
| 2. 7     | 岐阜県美濃加茂市    | 5     | お帰りなさいプロジェクトについて  |
| 2. 8     | 熊本県水俣市      | 3     | エネルギーパーク洲本について    |

※人数には議会事務局の随行者などを含んでいます。

## 政務活動費・議会交際費の公表

政務活動費は、地方議員の資質の向上を図り、地方議会の活性化を図っていくため、地方自治法に規定され、地方議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付されるものです。

本市では、条例により議員1人当たり月額12,500円（年額15万円）を、会派へ年度当初に交付しています。そして、年度末に1年間の収支報告書等を提出することが義務付けられており、その時点で交付された政務活動費に残余がある場合は、市へ返還することになっています。

議会交際費は、市議会の円滑な運営を目的として、議長などが市議会を代表して外部の関係者と良好な関係を築くために、特に必要と認められる経費です。

### 平成28年度 政務活動費執行状況

(単位：人、円)

| 会派名        | 議員数 | 交付額(A)    | 執行額(B)    | (B)の内訳    |        |     |     |          |     |       |       | 返還額(A)-(B) |
|------------|-----|-----------|-----------|-----------|--------|-----|-----|----------|-----|-------|-------|------------|
|            |     |           |           | 調査研究費     | 研修費    | 広報費 | 広聴費 | 要請・陳情活動費 | 会議費 | 資料作成費 | 資料購入費 |            |
| 宙(おおぞら)    | 7   | 1,050,000 | 804,360   | 804,360   | 0      | —   | 0   | 0        | 0   | 0     | 0     | 245,640    |
| 「志(こころざし)」 | 5   | 750,000   | 597,144   | 597,144   | 0      | —   | 0   | 0        | 0   | 0     | 0     | 152,856    |
| 日本共産党      | 3   | 450,000   | 229,700   | 157,200   | 72,500 | —   | 0   | 0        | 0   | 0     | 0     | 220,300    |
| 公明党        | 2   | 300,000   | 126,281   | 126,281   | 0      | —   | 0   | 0        | 0   | 0     | 0     | 173,719    |
| 市民みどりの会    | 1   | 150,000   | 0         | 0         | 0      | —   | —   | 0        | 0   | 0     | 0     | 150,000    |
| 合計         | 18  | 2,700,000 | 1,757,485 | 1,684,985 | 72,500 | —   | 0   | 0        | 0   | 0     | 0     | 942,515    |

※広報費については、市議会の申し合わせにより使用しないこととしています。

### 平成28年度 議会交際費執行状況

| 区分     | 祝金     | 弔慰金    | 見舞金 | 会費・負担金  | 接遇費 | 手土産品代  | 寸志     | その他    | 合計      |
|--------|--------|--------|-----|---------|-----|--------|--------|--------|---------|
| 件数(件)  | 3      | 4      | 0   | 26      | 0   | 13     | 2      | 4      | 52      |
| 支出額(円) | 50,000 | 19,000 | 0   | 287,500 | 0   | 49,722 | 20,000 | 34,776 | 460,998 |

# 就任あいさつ

議長 小松茂 副議長 木戸隆一郎



関であり、市民福祉の向上と市政の発展のため、日々努力していかなければなりません。

本市が直面している懸案事項に真摯に立ち向かい、精一杯に議論を尽くし、責任をもって議決することで、市民の負託と信頼に応えられるよう、全力を傾注する決意でございます。

微力ながらも、議会に与えられた権限を充分に發揮できるよう、公正・中立な立場で議会運営に臨み、そして開かれた議会を目指して議会の活性化に取り組んでまいりたいと存じます。

市民の皆さんには、平素より市議会及び議員活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

この度、私どもは、3月定例市議会におきまして、洲本市議会議長並びに副議長の要職を担うことになりました。大変光栄に存じますとともに、その責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

私ども市議会は、行政に對しチェック機能を持つ機

挨拶とさせていただきます。

## 新しい議会構成

議長 小松 茂

副議長 木戸 隆一郎

監査委員 笹田 守

常任委員会は、各部局に属する予算や条例などの議案、請願などを審査し、また、その事務に關することを調査します。委員と担当部局は下記のとおりです(◎は委員長 ○は副委員長)。

|            |   |
|------------|---|
| 総務         | ◎地村耕一良 ○先田 正一 小松 茂 上田 昌孝 柳川 真一 片岡 格<br>(企画情報部) 秘書、魅力創生、広報、CATV、企業誘致、定住促進など<br>(総務部) 庁舎管理、人事、財産管理、消防、防災、由良支所、上灘出張所など<br>(財務部) 財政、行政改革、契約、市税、収納対策など<br>五色総合事務所、会計課、選挙管理委員会事務局、議会事務局、監査委員事務局など |
|            | ◎岡崎 稔 ○近藤 昭文 小野 章二 福本 巧 木下 義寿 木戸隆一郎<br>(市民生活部) 戸籍などの証明書、年金、国民健康保険、ごみ、リサイクル、市民相談、人権など<br>(健康福祉部) 福祉、子育て、介護、健診、診療所、保育など<br>(教育委員会) 幼稚園、小学校、中学校、給食、公民館、図書館、文化史料館、洲本文化体育館、五色台運動公園、文化財、スポーツなど    |
|            | ◎中野 瞳子 ○廣田 恵三 間森 和生 笹田 守 平郡 平 山本 和彦<br>(産業振興部) 農業、林業、漁業、商工、観光全般<br>(都市整備部) 市道、市河川、下水道、市営住宅、都市計画など<br>(農業委員会事務局) 農地の権利移動などの委員会運営   |
|            | ◎木下 義寿 ○小野 章二 近藤 昭文 柳川 真一 笹田 守 先田 正一<br>(議会運営委員会) 議会の運営、会議規則、委員会条例などを審査し、円滑な議会を図るための委員会です。また、議長の諮問機関としての役割も担っています。  |
| 議会報編集特別委員会 | ◎間森 和生 ○柳川 真一 小野 章二 上田 昌孝 廣田 恵三 木戸隆一郎<br>(議会報編集特別委員会) 定例市議会ごとに発行される市議会だよりの編集と、よりよい紙面づくりのための調査研究を行っています。   |

◎木下 義寿 ○小野 章二 近藤 昭文 柳川 真一 笹田 守 先田 正一

議会運営委員会は、議会の運営、会議規則、委員会条例などを審査し、円滑な議会を図るための委員会です。また、議長の諮問機関としての役割も担っています。

議会報編集特別委員会

◎間森 和生 ○柳川 真一 小野 章二 上田 昌孝 廣田 恵三 木戸隆一郎

議会報編集特別委員会は、定例市議会ごとに発行される市議会だよりの編集と、よりよい紙面づくりのための調査研究を行っています。

気持ちも新たに……



## 議会日程

|              |                         |              |                       |
|--------------|-------------------------|--------------|-----------------------|
| 2月23日        | 告示 常任委員長会               | 3月17日        | 総務常任委員会               |
| 2月27日        | 議会運営委員会                 | 3月21日        | 議会運営委員会               |
|              | 議会報編集特別委員会              | <b>3月22日</b> | <b>本会議第5日</b> (討論、採決) |
| <b>3月2日</b>  | <b>本会議第1日</b>           |              | 総務常任委員会               |
| <b>3月8日</b>  | <b>本会議第2日</b> (代表質問4会派) |              | 議会運営委員会               |
| <b>3月9日</b>  | <b>本会議第3日</b> (一般質問5議員) | <b>3月23日</b> | <b>本会議第6日</b> (役員選挙)  |
|              | 議会運営委員会                 |              | 総務常任委員会               |
| <b>3月10日</b> | <b>本会議第4日</b> (一般質問5議員) |              | 教育民生常任委員会             |
| 3月13日        | 予算審査特別委員会               |              | 産業建設常任委員会             |
| 3月14日        | 予算審査特別委員会               |              | 議会運営委員会               |
| 3月15日        | 予算審査特別委員会               |              | 議会報編集特別委員会            |
| 3月16日        | 産業建設常任委員会               | 4月5日         | 議会報編集特別委員会            |
|              | 教育民生常任委員会               |              |                       |

## 編集後記

◆ ランドセルが歩いているように見えるピカピカの1年生。真新しい自転車でさわやかに通学路を駆ける生徒。緊張の面持ちで社会人の第一歩踏み出す新入社員。そんな人生の1ページを新年度では所々で感じます。市民の皆さんも、気持ちを新たにし、スタートを切られたことと存じます。◆ 議会においても役員改選が行われ、新議長のもと各委員会のメンバーの顔ぶれも変わりました。新メンバーになつても、引き続き開かれた議会として、手に取つて読みとなる。読んでいて市議会の動きがわかりやすい議会報の編集に向けて、紙面の工夫に取り組んでまいります。ぜひ、ご意見やご感想があればお寄せ下さい。◆ 今年度、本市では、交流をひとつ柱とし、アルファアビアでの堀井雄二氏にちなんだ関連特別展示をはじめ、さまざまなイベントが年間を通して企画されています。からの取り組みに、ぜひ、ご注目ください。

(木戸)



洲本市議会の本会議は、簡単な手続きでだれでも傍聴することができます。

希望される方は、本会議当日に市役所6階の傍聴受付で傍聴券の交付を受けて下さい。(傍聴券の交付には、本人の住所・氏名・年齢の記入が必要です) 傍聴券は、先着順にお渡ししています。また、各委員会も傍聴することができます。その際の手続きや傍聴席数については、議会事務局にお問い合わせ下さい。傍聴する際は、洲本市議会傍聴規則で必要なことを定めていますのでご覧下さい。